



このコーナーでは、「お便り」や「写真」をお待ちしています。

【投稿について】

- ◆お便りは200文字以内。写真は1枚につき50文字以内。(文章は、必要に応じて添削します)
- ◆住所・氏名・年齢・電話番号・ペンネーム(記入がない場合イニシャルで掲載)を記入の上、ご投稿ください。
- ◆投稿は、はがき・封書・FAX・メールまたは直接伊佐PR課(大口ふれあいセンター2階)へ
- ◆締切は、毎月10日
- ※営利目的や個人、団体を批判・中傷するような内容は掲載できません。
- ※紙面の都合上、掲載できないこともあります。
- ◆投稿者の中から抽選でプレゼントが当たります。当選者の発表は商品の発送をもってかえさせていただきます。



5月号のプレゼント
 更生之素(4個)
 (特産協会提供)
 【投稿・問い合わせ先】
 〒895-2511
 伊佐市大口里2845番地2
 伊佐PR課
 「和みのひろば」係
 ☎294113
 ☎29420
 ✉koho@city.isa.lg.jp

ある雑誌の2月号に桜の名所として忠元公園と曾木の滝が掲載されていた。少年の頃遊んだ曾木の滝を思い出し、感激もひとしおである。吊り橋もかかり重畳とした石の列を眺めることができた。その昔、石の列を渡りながら夕方になると石の表面に出ている「ダンマ」すくいに夢中になり、時には滝つぼの観音淵まで行くことがあった。真暗で森閑とした静寂が恐くて早々に引き

主人や3人の子が通った大口東幼児学級が27年度で閉園しました。2月28日の式典では県警察音楽隊によるふれあいコンサートがありました。体育館は校区の方でいっぱい。すばらしい音楽や若手イケメン警察官の初々しい漫才と、楽しい午後の一時を過ごしました。春のような陽気に誘われて子ども達が通った道を思い出に浸りながら歩きました。思い出はアルバムの中に、それぞれの心の中に。「ありがとう大口東幼児学級」。(大口東 東の炭っ子 50代)

ガラッパさん、「ダンマ」って川エビのことなんです。広報紙でご購読ありがとうございます。懐かしい話題もお届けしますのでお楽しみに。

返したものだ。今でも川内川にダンマはいるのであるか。(岡山県 他郷に棲む川内川ガラッパ 90代)
 春の十曾エドヒガン、定番の連想に今一つ付け加えたいものがある。ダム湖下流の海棠と清流、なだらかな起伏を見事に刈り込まれた芝生は素敵ですよ。ブルーベリー園から左折する道は程良い森林浴で癒される。表街道は兎も通る、裏街道ももっと売りに出している。

吾が気づかない処にまだまだ伊佐の宝は埋もれているような気がします。貴重な海棠の見頃は3月末。来年はぜひご覧になってみては。(大口東 E・H 80代)



人口のうごき (住民基本台帳から)

H28. 3. 1 現在 (前月比)

総人口	27,538人	(- 14)
男	12,759人	(+ 4)
女	14,779人	(- 18)
世帯数	13,814世帯	(+ 5)



編集後記

3月11日です。被災した方にとって何年経ったかは関係のないことで「5年なんて節目でもなんでもない」というお話を聞きました。悲しみが癒える日まで必要な時間は人それぞれです。

震災に関する特集で「風の電話」という番組を観ました。丘の上の風が強い場所にある白い電話ボックスには、線が繋がっていない黒電話がひとつ。病気で亡くなった知人に話しかけてたくてそれを設置した家主は、震災後、被災者にその場所を開放しているのです。亡くなった人への想いを言葉にしては心が折れてしまいそうだと我慢し続けた被災者が、受話器に向かい絞り出すように発した声は「元気にしてるか、早く連絡くれよ」、「なんで僕だけ、お父さんがいないの」と小さく震え、風の音にかき消されてしまいました。

故人と向き合う小さな個室は、時間が経てば経つほど唯一胸の内を明かせる場所として必要なかもしれません。どうか皆さんの心の声が大切な人に届きますように。(終)